

益田勉先生のご退職にあたって

人間科学部長 神田信彦

2023年3月をもって、人間科学部心理学科の益田勉教授が定年退職されます。

益田先生は2008年4月、心理学科設置と同時に赴任され、以来15年間にわたりご自身の実務経験とご研究の成果を背景に同学科ビジネス心理学コースの中心的役割を担われ「ビジネス心理学」や「ビジネス心理学実習」など主要な科目を担当されるとともに大学院では「人間科学研究法」を担当されてきました。

益田先生は1976年に東京大学文学部社会心理学科を卒業後、株式会社リクルート入社されました。リクルートでは、社員教育プログラムや適性検査の開発や新規事業（情報ネットワーク事業）のマーケティングや事業企画等を担当されるとともに情報ネットワーク事業企画室長、経理部長、HRD研究所長を務められました。

1999年には独立され、人事教育コンサルタントの会社を立ち上げられました。その傍ら筑波大学大学院で学ばれ、2002年に筑波大学大学院修了修士（経営学）号を取得されています。また2005年まで筑波大学大学院企業科学専攻博士後期課程で学ばれました。さらに2019年には高野山大学大学院文学研究科密教学専攻を修了されています。こうしたことから益田先生の学びや研究への強い意欲と行動力を感じずにはいられません。

学内では、益田先生は以下の校務を担われてきました。

- 学部進路指導委員（2008年4月～2009年3月）
- 就職委員・学部進路指導委員（2009年4月～2011年3月）
- 学生委員（2011年4月～2013年3月）
- 心理学科長（2013年4月～2016年5月）
- 人間科学部長（2016年6月～2021年3月）
- 学園評議員（2016年6月～2021年3月）
- 学園理事（2017年4月～2021年3月）
- ハラスメント防止委員（2021年4月～2023年3月）

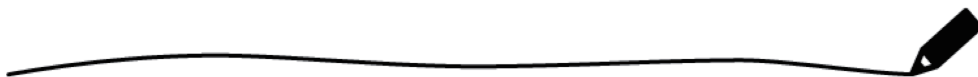
上記のように、心理学科長、人間科学部長、学園評議員、学園理事などの重責を歴任されてきました。2016年6月から4年10ヶ月にわたり人間科学部長を務められました。学部長に就任される直前まで、先生は心理学科長を務められていましたが、学部長に就任されるまで短期間でありさまざまな準備される時間もないまま学部長の任につかれたものと想像します。そうした状況にもかかわらず慌てることもなく誠実にまた精力的に学部長の職務に臨まれていました。教授会でのやりとりにも際しても冷静かつ真摯に対応されているお姿が印象に残っています。また、前学部長の時から課題の一つであった学部改組にも取り組まれましたが、必ずしも意図された方向には進みませんでした。しかしそのプロセスでも先生は真摯に取り組まれ、さまざまな議論に丁寧に対応されていました。そうしたお姿を拝見して感じましたのは、益田先生はたいへん有能であるだけでなく非常に責任感の強い方であるということです。

また、文教大学学園の理事の役割も担われ学部学科、大学だけでなく文教大学学園の発展に尽力されてきました。

益田先生のご研究の領域は、産業・組織心理学とキャリア発達心理学です。特に文教大学に赴任されてからはキャリア発達を中心に研究を深めていらっしゃいました。益田先生のご業績のリストを拝見すると、この数年間は論文のタイトルに空海の名前が見られます。これはどうしたことだろうと、先生におたずねしたところ、7, 8年前から高齢者のキャリア発達に関心を持たれるようになったそうです。ご自身が高齢者の仲間入りをされたこともそうした問題意識を強められることになったそうです。また心理学的なキャリア発達論には高齢者を考慮した発達段階の研究が不足しているともお考えになり、たどり着かれたのが仏教であり、中でもインド仏教の最終的な発展形態と言われる「密教」の思想に着目されました。日本人の高齢者キャリアを考える場合には、文化に根付いた考えが欠かせないとお考えになり、日本に密教を招来した空海とその思想に興味をもたれたそうです。高野山大学大学院で学ばれたのもこうした背景によるものとうかがっています。

空海の『秘密曼荼羅十住心論』は生涯発達論であるとお考えを『人間科学研究』に論文としてまとめていらっしゃいますが、退職された後も研究テーマの一つとしてさらに深められることをお考えです。

益田先生、15年間にわたり人間科学部の学生の教育、さらには学部運営にご尽力いただきありがとうございます。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



益田勉 年譜・業績



益田・勉（ますだ・つとむ）

〈経歴〉

- 1976年3月 東京大学文学部社会心理学科卒業
2002年3月 筑波大学大学院経営政策科学研究科・経営システム科学専攻修了
2005年3月 筑波大学大学院企業科学専攻（博士後期課程）中退
2019年3月 高野山大学大学院文学研究科密教学専攻修了
- 1976年4月 株式会社日本リクルートセンター（現リクルート）入社（～1999年）
1999年10月 有限会社パスカルコンサルティング代表取締役（～2020年）
2002年8月 サンスパイラル株式会社取締役（～2007年）
2004年4月 （特）キャリアカウンセリング協会客員研究員・講師（～2020年）
2005年4月 リクルートワークス研究所客員研究員（～2006年）
2008年4月 文教大学人間科学部専任講師
2011年4月 文教大学人間科学部准教授
2016年4月 文教大学人間科学部教授

〈研究分野〉

- ・産業・組織心理学
- ・キャリア発達論

〈所属学会〉

- ・産業・組織心理学会
- ・経営行動科学学会
- ・日本仏教心理学会
- ・空海学会
- ・巡礼遍路研究会
- ・密教図像学会

〈研究業績〉

【著書】

- ・キャリアの探索と形成～キャリアデザインの心理学～（単著）文教大学出版事業部（2011年）
- ・日々の生活に役立つ心理学（共著）川島書店（2014年）
- ・空海に学ぶキャリアデザイン（単著）春風社（2020年）

【論文】

- ・民間の職業訓練（単著）日本労働研究機構研究所（1996）「JILリサーチ：28」
- ・キャリア選択行動に対するキャリア志向性の影響（単著）経営行動科学第16巻2号，（2002）pp117-129
- ・人材デフレ下の能力開発（共著）Works人材マネジメント調査2003総合報告書，pp57-90. リクルートワークス研究所
- ・多様な人びとが生き生きと働ける「ユニバーサル」組織（共著）Works Review 第1巻，pp134-147、リクルートワークス研究所（2006）
- ・キャリア・アダプタビリティと組織内キャリア発達（単著）文教大学人間科学研究第30号（2009）pp67-78
- ・ITサービス企業にみる顧客志向の組織文化と組織成果（単著）文教大学人間科学研究第31号（2010）pp103-114
- ・キャリア・アダプタビリティと転職の意志（単著）文教大学生活科学研究第32集（2010）pp13-25
- ・キャリアの効果性の4類型の検討（単著）文教大学人間科学研究第32号（2011）pp31-39
- ・キャリアの効果性の4類型の検討（2）（単著）文教大学人間科学研究第33号（2012）pp89-103
- ・キャリア発達の内容理論と過程理論～キャリア発達理論の統合的理解に向けての1視点～（単著）文教大学人間科学研究第34号（2013）pp85-96
- ・「若者の安定志向」の心理学的検討（単著）文教大学人間科学研究第35号（2014）pp15-26
- ・キャリア・アダプタビリティと後期キャリア発達（単著）文教大学人間科学研究第36号（2015）pp79-90
- ・キャリア・ネットワークと後期キャリア発達（単著）文教大学生活科学研究第37集（2015）pp27-40
- ・高齢者のキャリア意識（単著）文教大学人間科学研究第37号（2016）pp69-80
- ・意味感がドライブするキャリア～高齢者のキャリア志向～（単著）文教大学人間科学研究第39号（2018）pp83-94

- ・日光の行者道と坂東巡礼（単著）巡礼遍路研究第5号（2019）pp1-16
- ・空海のキャリア選択（1）～24歳の転機～（単著）文教大学人間科学研究第41号（2020）pp21-44
- ・空海のキャリア選択（2）～山林修行で得たもの～（単著）文教大学生活科学研究第42集（2020）pp89. -100
- ・空海の十住心思想と生涯発達（単著）文教大学人間科学研究第43号（2022）pp39-52
- ・空海の山林修行に関する一考察（単著）巡礼遍路研究第7号（2022）

【学会発表】

- ・雇用流動化とキャリア開発における産業・組織心理学への期待（学会シンポジウム共同発表）産業・組織心理学会第18回大会（2002年10月5日・6日於慶應義塾大学日吉キャンパス）論文集pp19-24
- ・企業文化・組織風土の改革（セミナー共同発表）日本総研「企業の社会的責任－CSRの視点からの起業戦略と方策の再検証」（2004年12月7日，於日本総合研究所）
- ・リスク・マネジメントと組織風土（学会共同発表）リスク・マネジメント協会第5回春季年次大会（2005）発表資料
- ・多様な人びとが生き生きと働ける「ユニバーサル組織」成立の要件（共同発表）リクルートワークス研究所「ワークス」2006Apr.-May.
- ・「ユニバーサル」組織の探究（シンポジウム共同発表）ワークスシンポジウム2006（2006年5月19日，於六本木ヒルズ）
- ・組織行動と組織成果（学会共同発表）経営行動科学学会第11回年次大会（2008年11月8日・9日於中部大学名古屋キャンパス）
- ・キャリア教育のためのキャリアアンカーサーベイ開発報告（2）～尺度スコア・プロフィールの適切性の検討～（学会共同発表）経営行動科学学会第12回年次大会（2009年11月6～8日於東京工業大学）
- ・職業パーソナリティ・テストの開発報告～質問紙の作成とRIASECモデルの検証～（学会共同発表）人材育成学会第7回年次大会（2009年12

月13日於杏林大学医学部付属病院医学部講義棟)

- ・キャリア教育のためのキャリアアンカーサーベイ開発報告(3)～加齢に伴うキャリアアンカーの収斂傾向の探索～(学会共同発表)経営行動科学学会第13回年次大会(2010年11月13日於神戸学院大学)
- ・実践的能力・スキルの修得に関する大学授業(実習)の試み～経験の場を提供し学びを生み出すプログラム展開報告～(学会共同発表)人材育成学会第8回年次大会(2010年12月12月19日(日)於東洋学園大学 本郷キャンパス)
- ・職業パーソナリティ・テストの開発報告～質問紙の作成とRIASECモデルの検証～その3(学会共同発表)人材育成学会第10回年次大会(2012年12月9日)於立教大学池袋キャンパス
- ・カレッジインパクトに関する心理学的研究の試み(学会共同発表)産業・組織心理学会第30回全国大会(2014年9月13日(土)於北海学園大学)
- ・産業カウンセリングに求められるパラダイム転換(学会シンポジウム共同発表)日本産業カウンセリング学会第19回大会(2014年9月15日於大正大学)
- ・カレッジインパクトに関する心理学的研究の試み(2)(学会共同発表)産業・組織心理学会第32回全国大会(2016年9月3日(土)於立教大学新座キャンパス)
- ・日光の行者道と坂東巡礼(学会発表)巡礼遍路研究会第5回研究発表会(2016年6月24日(日)於高野山大学難波サテライト)
- ・空海の山林修行に関する一考察(学会発表)巡礼遍路研究会第7回研究発表会(2021年6月19日(土)於大阪・ドーンセンター)

